

「リサーチ・アナリストが選ぶディスクロージャー優良企業」
第2回（平成8年）選定結果について

平成8年9月19日
社団法人日本証券アナリスト協会
ディスクロージャー研究会

日本証券アナリスト協会（土井定包会長）では、企業情報開示の向上を目的とした「リサーチ・アナリストが選ぶディスクロージャー優良企業」制度を昨年度からスタートさせましたが、このほど、当協会のディスクロージャー研究会（松島憲之座長）による第2回の選定結果がまとまりました。その概要は下記の通りであります。

当協会といたしましては、引き続きこの制度による定期的な優良企業の選定を通じて、公開企業とリサーチ・アナリストとの意思疎通を図るとともに、企業情報開示の向上、促進に寄与して参りたいと存じますので、関係各方面のご理解とご支援をお願いする次第であります。

記

1. 選定の趣旨

近年、わが国証券市場の構造変革と活性化を巡る論議の中で、証券アナリストが企業のファンダメンタルズに基づく客観的な分析と投資価値の評価を行い、投資家に対して高度の投資情報を提供することは、効率的な市場形成にとって欠くことのできないものであるという認識が高まってきている。証券アナリストがこうした期待に応えて合理的な証券分析を行っていくためには、自ら分析技術の不断の研鑽に努めるとともに、企業情報のディスクロージャーが質・量両面から充実されることが極めて重要と考えられる。

このような観点から、予て、企業のディスクロージャーに関する事例研究や提言を行ってきたディスクロージャー研究会（以下当研究会。メンバー別紙1）では、平成7年度から企業と投資社会との意思の疎通をさらに向上させる手段のひとつとして、証券アナリストの立場から望ましい企業情報のディスクロージャーについての評価基準を策定し、経験豊富なアナリストによる綿密な企業別評価を行い、ディスクロージャー優良企業を業種別に選定し、各業種における模範としてこれを公表することとした。

2. 本年度の評価対象

- (1) 本年度は、東証1部上場株式時価総額を基準とし、建設業（ゼネコン、上位10社）、化学産業（総合化学、上位9社）、医薬品産業（上位11社）、鉄鋼業（上位8社）、電気・精密機器産業（上位16社）、自動車産業（上位7社）、商社（総合商社、全9社）および小売業（百貨店・スーパー、上位11社）の8業種合計81社（企業名別紙2）に絞って評価を行った。
- (2) また、評価範囲は、原則として、平成7年度決算発表以降における企業情報のディスクロージャー状況とした。

3. 評価方法および手続

評価に当たっては、まず当研究会が先に策定した「ディスクロージャー・評価基準例」（別紙3）をベースとして、建設、化学、医薬品、鉄鋼、電気・精密機器、

自動車、商社および小売業の8業種の各専門部会（メンバー別紙4）が、それぞれ当該業種の特性に応じて手直しを加えた「業種別ディスクロージャー評価基準（スコアシート）」を作成した。これらの評価基準は、業種ごとに項目、配点等において若干の差異はあるが、何れも有価証券報告書等による制度的開示よりも、アナリストへの説明会、インタビュー等企業の自発的、積極的な開示活動の評価に重点をおいていることが特徴である。

この業種別評価基準に基づき、リサーチ・アナリスト経験年数3年以上でかつ現在当該業種担当概ね2年以上の者の中から、評価対象企業に精通した186名（46社、メンバー別紙5）がスコアシート記入を行った。これを各部会において取りまとめ、慎重に分析、評価のうえ、当研究会としての優良企業選定を行った。

4. 評価結果

評価結果は、各業種別ディスクロージャー評価比較総括表（別紙6）に示すとおりであり、業種別の総平均点を比較すると、建設業（ゼネコン）61点（昨年度54点）、化学（総合化学）56点（本年度新規実施）、医薬品産業69点（昨年度61点）、鉄鋼業59点（昨年度63点）、電気・精密機器産業57点（昨年度71点）、自動車産業50点（昨年度54点）、商社（総合商社）49点（昨年度54点）、小売業（百貨店・スーパー）48点（昨年度スーパー71点）と業種間にばらつきが生じているが、これは、評価項目の数と配点に業種間相違があるためであり、ディスクロージャーの優劣を表すものではない。

また、総平均点を昨年度と比較すると5業種において低下しているが、その理由としては、最も配点の高い「説明会、インタビュー等における開示」において、本年度から口頭による開示などに比較して、決算説明会資料による開示をより重視して評価したことが主因であり、この資料開示の平均得点率がかなり低かったことが挙げられる。

ちなみに、スコアシート記入者の意見を総合すると、昨年度から継続して評価対象となった企業の多くは、この評価を契機としてIR体制の整備、アナリスト受け入れ姿勢の改善あるいは情報の質の充実を図りつつあり、ディスクロージャーは着実に向上していると述べている。

5. 本年のディスクロージャー優良企業および選定理由

- (1) 業種別の優良企業は、当該業種でいずれも第1位の得点を獲得し、それぞれの業種において他社の模範になると認められる次の8社を選定した。

建設業（ゼネコン）	鹿島建設	（2回連続）
化学産業（総合化学）	住友化学工業	（新規実施）
医薬品産業	第一製薬	（2回連続）
鉄鋼業	住友金属工業	（昨年度3位）
電気・精密機器産業	ソニー	（2回連続）
自動車産業	本田技研工業	（2回連続）
商社（総合商社）	三菱商事	（2回連続）
小売業（百貨店・スーパー）	イトーヨーカ堂	（2回連続）

(2) 選定理由

(鹿 島 建 設：総合得点72点)

同社は、近年連結情報の開示改善、決算補足資料の充実などにより、説明会、インタビュー等におけるディスクロージャーに積極的に取り組んでいることが評価される。

(住友化学工業：総合得点87点)

同社は、説明会の改善、充実を中心にIR活動に積極的に取り組んでおり、説明会開催のタイミング、時間設定、配布資料の内容とその説明、アナリストの質問に対する回答のいずれにおいてもアナリストの満足度が高いことが評価される。

(第 一 製 薬：総合得点90点)

同社は、連結対象子会社全社の業績一覧表の作成開示および開発新薬に対する自己評価を行うなど、業界内で情報開示の先駆者としてアナリストのニーズに応えている企業であることが評価される。

(住友金属工業：総合得点72点)

同社は、経営トップが自らアナリストミーティングで積極的に経営方針等を説明しているほか、IR担当者が充実した情報提供に努めていることが評価される。

(ソ ニ ー：総合得点69点)

同社は、国内外の投資家を対象に、充実したIR専門スタッフのもとで、グローバルベースでの自主的なディスクロージャー活動を積極的に展開しており、連結決算情報、損益のセグメント情報など有意義な情報の開示に努めていることが評価される。

(本田技研工業：総合得点72点)

同社は、当業界の海外現地生産化が進展する中で、連結決算開示内容の充実、経営トップ等とのミーティングの開催など、ディスクロージャーに積極的に対応し、その内容が年々改善されていることが評価される。

(三 菱 商 事：総合得点61点)

同社は、近年IR組織の整備と専門スタッフの充実を図り、説明会資料の充実、事業活動を理解してもらうための見学会の実施など、ディスクロージャーの改善、向上に努めていることが評価される。

(イトーヨーカ堂：総合得点78点)

同社は、経営トップが決算説明会で経営方針を説明するなど、常に率先してIR活動の陣頭に立っているほか、アナリスト受入れ姿勢が極めてよく、IR部門に十分な情報を集積して要領のよい的確な説明を行うとともに、極めて多くの有用な情報を説明資料により詳細に開示していることが評価される。

以 上

平成8年9月

ディスクロージャー研究会委員

- 座長 松島憲之 日興リサーチセンター 事業調査部主任研究員（検定会員）
- 伊藤敏憲 大和総研 企業調査第一部主任研究員（検定会員）
- 大江善雄 山一証券経済研究所 企業調査二部一課長（検定会員）
- 大橋圭造 日本興業銀行 証券部調査課長
- 後藤 潔 ナショナル証券 金融法人部部長代理（検定会員）
- 許斐 潤 野村総合研究所 企業調査部主任研究員（検定会員）
- 高島昇一 新日本証券 企業投資調査部課長代理（検定会員）
- 椿 康男 明治生命保険 有価証券部証券調査室証券分析グループ課長
- 永見和彦 岡三証券 証券情報部付次長（検定会員）
- 湯原皓爾 日興証券投資信託委託 業務管理部長

（五十音順、敬称略）

以上10名

「リサーチ・アナリストが選ぶディスクロージャー優良企業」
第2回（平成8年）評価対象企業

各専門部会別第2回評価対象企業

（注）アンダーラインは第2回追加企業

建設専門部会	ゼネコン	東証市場第一部上場 株式時価総額上位等		10社	鹿島建設株式会社、清水建設株式会社、大成建設株式会社、株式会社大林組、西松建設株式会社、戸田建設株式会社、株式会社熊谷組、 <u>五洋建設株式会社</u> 、株式会社フジタ、 <u>株式会社奥村組</u>
化学専門部会 （第1回は全社対象外）	総合化学	同	上	9社	三菱化学株式会社、旭化成工業株式会社、住友化学工業株式会社、信越化学工業株式会社、昭和電工株式会社、宇部興産株式会社、三井東圧化学株式会社、東ソー株式会社、三井石油化学工業株式会社
医薬品専門部会	医薬品	同	上	11社	武田薬品工業株式会社、三共株式会社、山之内製薬株式会社、大正製薬株式会社、エーザイ株式会社、小野薬品工業株式会社、第一製薬株式会社、萬有製薬株式会社、塩野義製薬株式会社、藤沢薬品工業株式会社、 <u>中外製薬株式会社</u>
鉄鋼専門部会	鉄鋼	同	上	8社	新日本製鐵株式会社、川崎製鉄株式会社、日本鋼管株式会社、住友金属工業株式会社、株式会社神戸製鋼所、日立金属株式会社、日新製鋼株式会社、東京製鐵株式会社
電気・精密機器専門部会	電気・ 精密機器	同	上	16社	松下電器産業株式会社、株式会社日立製作所、株式会社東芝、ソニー株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、シャープ株式会社、キャノン株式会社、三菱電機株式会社、京セラ株式会社、三洋電機株式会社、株式会社村田製作所、松下電工株式会社、 <u>株式会社リコー</u> 、 <u>TDK株式会社</u> 、 <u>ローム株式会社</u> 、
自動車専門部会	自動車	同	上	7社	トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、日産自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、スズキ株式会社、 <u>いすゞ自動車株式会社</u> 、 <u>マツダ株式会社</u>
商社専門部会	総合商社	同	上	9社	三菱商事株式会社、三井物産株式会社、住友商事株式会社、伊藤忠商事株式会社、丸紅株式会社、日商岩井株式会社、株式会社トーメン、ニチメン株式会社、兼松株式会社
小売業専門部会	百貨店、スーパー	同	上	11社	株式会社丸井、株式会社三越、株式会社高島屋、株式会社伊勢丹、株式会社阪急百貨店、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ダイエー、ジャスコ株式会社、株式会社マイカル、ユニー株式会社、株式会社西友
	8業種合計			81社	

ディスクロージャー評価基準例（スコアシート）

評価対象企業名			
上記企業に対する直近1年間の接触回数			
①説明会等出席	②インタビュー等取材訪問	③その他	合計
回	回	回	回
合計4回未満の者、または①と②の小計が2回未満の者はこのスコアシート記入の必要がありません。			

評価者	会社名 所属部・課 氏名 TEL ()
-----	-------------------------------

1. 決算短信および有価証券報告書における開示（全体の10～20点）（本項は各専門部会委員のみが記載する）

項目 (各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。	①②のそれぞれについていずれか1つにチェックをして下さい					
	① (× %) 決算短信			② (× %) 有価証券報告書		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(1) 決算短信および有価証券報告書におけるディスクロージャーは前年に比べて改善していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 「当期の業績の概況」および「配当政策(株主還元政策)」は十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 設備投資および減価償却費の実績が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 部門別の売上高が国内・輸出別に記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 事業別ならびに仕向け先別の受注実績および受注見通しが記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 営業外損益では、受取利息、受取配当金、支払利息および有価証券売却損益が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) 連結対象子会社・関連会社の収益状況が説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) 連結対象子会社・関連会社、グループ関係企業の資本関係、投融資および保証が説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) 連結決算の事業種類別および所在地別セグメント情報は具体的に開示されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) 連結ベースの設備投資および減価償却費の実績が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(注) 決算短信には、東証の要請による添付資料等を含む。

2. 説明会、インタビューおよび説明資料等における開示（全体の60～75点）

項目 (各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(1) 説明会、インタビューおよび説明資料等におけるディスクロージャーは前年に比べて改善していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 決算発表後の説明会の開催もしくは取材等への対応は迅速に行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 決算説明会を実施していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 連結決算説明会を実施していますか、あるいは決算説明会で連結決算について説明していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<p style="text-align: center;">項 目</p> <p style="text-align: center;">(各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。</p>	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (× 0.5)	NO (× 0)
(5) 決算説明会およびアナリストミーティングで経営トップなど経営全般について語れる人が経営方針等を十分に説明していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 経営トップなど経営全般について語れる人へのインタビューは容易ですか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) IR部門に十分な情報が集積されており、IR担当者と有益なディスカッションができますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) IR部門以外のセクションへのインタビュー等は容易ですか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) アナリストが参加できる工場見学・商品発表会等を実施していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) 連結の半期あるいは四半期決算を報告していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(11) 説明資料による開示			
A 決算説明会で決算短信以外の説明資料を配布していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B 設備投資の実績の内訳および計画は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 減価償却費の実績および見通しは記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D 投融資の実績および主な内容は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E 保証債務の内容は十分に記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F 研究開発費の実績および計画は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G 期末の従業員数および出向者数の実績ならびに計画は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
H 人件費の実績ならびに計画は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
I 販売費および一般管理費の主要項目(販売費、物流費、事業税など)の実績は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
J 営業外損益の主要項目(有価証券売却損益、有価証券評価損、為替差損益、社債発行費、ロイヤリティなど)の実績は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
K 特別損益の内訳およびその発生理由は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
L 部門別売上高の実績および計画が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
M 部門別輸出高の実績および計画が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
N 地域別売上高の実績および計画が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
O 主要商品の売上高、販売数量および単価が記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P 事業別ならびに仕向け先別の受注実績および受注見通しが記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q 海外調達額の実績および計画は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
R 輸出入取引における通貨別取引高、決済レート、為替変動に伴う損益への影響額、為替予約状況等は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
S 連結決算の事業の種類別・所在地別セグメント情報は十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
T 連結ベースの設備投資の実績および計画は説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
U 連結ベースの減価償却費の実績および見通しは説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
V 連結ベースの期末従業員数ならびに出向者数の実績および計画は記載されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(12) 説明会およびインタビュー等における開示			
A 説明会およびインタビュー等において上記(11)の各項目について十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B B/Sの主要項目の増減理由は十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 利益増減要因は明確かつ十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D 法人税等の算出根拠は説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
E セグメント情報について十分な説明が行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F 受注残の内容について十分な説明が行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
G 次期の事業計画および中長期の経営方針が十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<p style="text-align: center;">項 目</p> <p style="text-align: center;">(各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。</p>	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (×0.5)	NO (× 0)
H 研究開発内容などに関する技術的質問に十分に対応してくれますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
I 主な連結子会社・関連会社の損益、財務などの状況が十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
J 連結子会社・関連会社、グループ関係企業の資本関係、投融資および保証が十分に説明されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. 東証へのファイリング等タイムリー・ディスクロージャー (全体の10～5点)

<p style="text-align: center;">項 目</p> <p style="text-align: center;">(各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。</p>	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (×0.5)	NO (× 0)
(1) アナリストが重要と判断する事項(業績変動、新製品・新技術、合併・提携、年金の資産内容、リース会計、偶発債務、デリバティブ取引、オフバランス取引など)の開示は遅滞なく、十分に行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) アナリストが重要と判断する事項に関しての質問に迅速に対応してくれますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) アナリストが重要と判断する事項の開示内容および質問への対応は十分ですか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 企業が自主的に公表している情報 (全体の20～10点)

<p style="text-align: center;">項 目</p> <p style="text-align: center;">(各質問項目のうち当該会社に該当しない) 項目はその回答を省いて下さい。</p>	いずれか1つにチェックをして下さい。		
	YES (× 1)	一部 開示等 (×0.5)	NO (× 0)
(1) ディスクロージャーは公平に行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) ファクトブックや統計補足情報等の内容は充実していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) アニュアルレポートの内容は充実していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 英文の決算説明資料を作成していますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 期中(月次、四半期、累計など)の売上高、受注等の実績は迅速、かつ詳細に公表されていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6) 重要な記者発表資料を送ってくれますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7) 決算発表は遅滞なく行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8) 要求すれば決算短信および補足資料を決算発表当日にファクシミリ等で送ってくれますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9) 要求すれば補足資料等を決算発表当日にファクシミリ等で送ってくれますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(10) インターネットを利用した情報提供は行われていますか。(点)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. その他当該会社のディスクロージャーについての感想(例えば、全般的な改善、悪化、その他)などお気付きの点があれば自由にご記入下さい。

スコープシート記入リサーチ・アナリスト一覽表

【建設】

氏名	所属会社・部所名
加藤 浩一	大和総研・企業調査第一部
齊藤 功一郎	大和総研・大阪調査部
栗原 英一	日興リサーチセンター・事業調査部
原田 裕志	日興リサーチセンター・大阪支所
林 志広	山一証券経済研究所・大阪支所
小池 信昌	新日本証券・企業投資調査部
吉田 亮樹	勸角総合研究所・産業調査部
播磨 永樹	和光経済研究所・産業調査第二部
豊久 和宏	岡三経済研究所・企業調査部
杉山 保洋	岡三証券経済研究所・産業調査部
柴山 吉明	コスモ証券経済研究所・投資調査部
長谷川 明一	第一証券経済研究所・投資調査部
野島 十ハル	ユニバーサル証券研究所・投資調査部
アラン・ウッドハル	ナショナル証券・投資調査部
増田 悦正	INGベアリング証券・調査部
塩入 敏隆	ジェームズ・ケーパー証券・調査部
橋本 隆昇	スミスバーニー証券・調査部
三村 昇	フロンティア証券・株式調査部
マーク・フラウソン	フロンティア証券・調査部
大槻 啓俊	BZWジャパン証券・調査部
小林 英彦	UBS証券・調査部
野口 堀龍	三井信託銀行・投資顧問部
	第一生命保険(相)・投資調査部
	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イク 投資調査グループ
合計	20社 24人

【化学】

氏名	所属会社・部所名
金井 孝雄	野村総合研究所・企業調査部
大渡 貴高	大和総研・企業調査第一部
沢田 志之	大和総研・企業調査第一部
堀井 浩雄	日興リサーチセンター・事業調査部
高尾 大	山一証券経済研究所・企業調査第二部
郷野 芳	新日本証券・企業投資調査部
赤谷 宗	勸角総合研究所・産業調査部
堀内 定一	和光経済研究所・産業調査第二部
牧山 明人	三洋経済研究所・企業調査部
小澤 二	第一証券経済研究所・投資調査部
トミタ 俊彦	さくら総合研究所・証券調査部
銀林 耕	フロンティア証券・株式調査部
石原 総	メリルリンチ証券・調査部
石嶋 徹	メリルリンチ証券・調査部
百加 史	モルガン・スタンレー証券・株式調査部
矢野 要	UBS証券・調査部
澤田 信	太陽投信委託・運用企画調査室
	野村証券投資信託委託・株式調査部
	三井信託銀行・投資顧問部
	住友生命保険(相)・株式運用部
	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イク 投資調査グループ
合計	19社 21人

【医薬品】

氏名	所属会社・部所名
田北 中	大和総研・企業調査第二部
村友 安	大和総研・企業調査第二部
沢池 隆善	日興リサーチセンター・事業調査部
小池 垣之	山一証券経済研究所・企業調査第二部
稲長 美紀子	山一証券経済研究所・大阪支所
鈴木 大輔	新日本証券・企業投資調査部
有安 宏	勸角総合研究所・産業調査部
赤羽 徳高	岡三経済研究所・企業調査部
岡利 和之	コスモ証券経済研究所・産業調査部
関博 俊	東京証券総合研究所・企業調査部
依田 俊	第一証券経済研究所・投資調査部
片山 義彦	さくら総合研究所・証券調査部
山中 三	INGベアリング証券・調査部
三島 茂	ゴールドマン・サックス証券・調査部
三嶋 久	フロンティア証券・株式調査部
加藤 佳	メリルリンチ証券・調査部
辻本 健	モルガン・スタンレー証券・株式調査部
村北 哲	UBS証券・調査部
	リーマン・ブラザーズ証券・調査部
	三井信託銀行・投資顧問部
	東京海上MC投資顧問・投資調査部
	野村投資顧問・調査室
	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イク 投資調査グループ
合計	21社 23人

【鉄 鋼】

氏 名	所 属 会 社 ・ 部 所 名
平 亮	野村総合研究所・企業調査部
伊 敏	大和総研・企業調査第一部
渡 嘉	山一証券経済研究所・企業調査二部
辻 典	新日本証券・企業投資調査部
小 善	和光経済研究所・産業調査部
山 則	岡三経済研究所・企業調査部
徳 敦	第一証券経済研究所・投資調査部
飯 美	さくら総合研究所・証券調査部
野 信	ゴールドマン・サックス証券・調査部
岩 宏	ジェームズ・ケーパール証券・調査部
鶴 実	ロンドン・フィリス・アソシエーツ証券・株式調査部
吉 憲	BZWジャパン証券・株式調査部
長 一	モルガン・カナル証券・株式調査部
長 亨	三井信託銀行・投資顧問部
若 亨	
合 計:	14社 14人

【電気・精密機器】

氏 名	所 属 会 社 ・ 部 所 名	氏 名	所 属 会 社 ・ 部 所 名
寺 高	野村総合研究所・企業調査部	岩 也	丸三証券・調査部
若 清	野村総合研究所・企業調査部	曾 基	ユニバーサル証券研究所・投資調査部
引 林	大和総研・企業調査二部	川 喜	ナショナル証券・投資調査部
高 実	大和総研・大阪調査部	忠 夫	ナショナル証券・投資調査部
井 佳	日興リサーチセンター・事業調査部	吉 滋	SBCウォーバーグ証券・調査部
越 浩	日興リサーチセンター・事業調査部	小 弘	クレディ・リヨネ証券・調査部
渡 英	日興リサーチセンター・大阪支所	栗 史	ゴールドマン・サックス証券・調査部
東 知	山一証券経済研究所・企業調査一部	エリック・邦彦	ゴールドマン・サックス証券・調査部
高 史	山一証券経済研究所・企業調査一部	川 彦	ジェームズ・ケーパール証券・調査部
高 一	新日本証券・企業投資調査部	千 綿	ロンドン・フィリス・アソシエーツ証券・株式調査部
米 之	新日本証券・企業投資調査部	吉 洋	ロンドン・フィリス・アソシエーツ証券・株式調査部
佐 明	国際証券・企業調査部	阪 子	ロンドン・フィリス・アソシエーツ証券・株式調査部
角 宏	勸角総合研究所・産業調査部	山 稔	モルガン・カナル証券・株式調査部
吉 彦	勸角総合研究所・産業調査部	隠 子	モルガン・カナル証券・株式調査部
日 壯	和光経済研究所・大阪支所	和 美	UBS証券・調査部
市 善	和光経済研究所・大阪支所	杉 悦	UBS証券・調査部
関 央	三洋経済研究所・企業調査部	荻 巢	リーマン・ブラザーズ証券・調査部
村 明	三洋経済研究所・企業調査部	宮 和	太陽投資委託・運用企画調査室
夏 俊	三洋経済研究所・企業調査部	平 茂	野村証券投資信託委託・株式調査部
藤 明	岡三経済研究所・企業調査部	相 一	三井信託銀行・投資顧問部
澤 希	岡三経済研究所・企業調査部	金 末	第一投資顧問・企業調査担当
山 秀	三菱証券経済研究所・産業調査部	熊 智	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イク・投資調査グループ
岡 猛	三菱証券経済研究所・産業調査部	名 子	J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・イク・投資調査グループ
伊 直	三菱証券経済研究所・調査部(大阪)	合 計:	33社 53人
相 繁	東京証券総合研究所・企業調査部		
岡 泰	第一証券経済研究所・投資調査部		
吉 幸	第一証券経済研究所・投資調査部		
山 浩	第一証券経済研究所・投資調査部		
高 一	山種調査センター		
生 衛	水戸証券経済研究所・調査部		
樹 茂	東洋証券・証券調査部		

【自動車】

氏名	所属会社・部署名
田島 弘之	大和総研・企業調査第一部
松丸 常強	日興リサーチセンター・事業調査部
持田 志彰	日興リサーチセンター・事業調査部
川村 高信	山一証券経済研究所・企業調査一部
柳池 司昭	新日本証券・企業投資調査部
徳田 一憲	勸角総合研究所・産業調査部
野中 健清	和光経済研究所・産業調査第二部
市川 文春	岡三経済研究所・企業調査部
倉田 英明	第一証券経済研究所・投資調査部
青沼 明英	東洋証券・証券調査部
エンダ 功治	ゴールドマン・サックス証券・調査部
遠藤 久廣	ソシエテジエネラル証券・調査部
副吉 孝一	リーマン・ブラザーズ証券・調査部
藤井 一郎	住友信託銀行・投資調査部
	三井信託銀行・投資顧問部
	J.P.モルガン・インベストメント・インク・投資調査グループ
	安田火災フィナンシャル・グループ 投資顧問・運用第一部
合計	17社 19人

【商社】

氏名	所属会社・部署名
加藤 康毅	野村総合研究所・企業調査部
石山 威利	大和総研・企業調査第一部
水ノ上 幸一	新日本証券・企業投資調査部
小野 谷 淳	国際証券・企業調査部
岡森 一子	勸角総合研究所・産業調査部
金岡 素真	和光経済研究所・産業調査第二部
黒澤 俊英	岡三経済研究所・企業調査部
依田 憲一郎	第一証券経済研究所・投資調査部
吉副 智希	水戸証券経済研究所・調査部
国森 拓哉	INGベアリング証券・調査部
北川 哲雄	モルガン・スタンレー証券・株式調査部
	リーマン・ブラザーズ証券・調査部
	三井信託銀行・投資顧問部
	J.P.モルガン・インベストメント・インク・投資調査グループ
合計	15社 15人

【小売業】

氏名	所属会社・部署名
石井 宏三	野村総合研究所・企業調査部
出村 藤健	大和総研・企業調査第二部
斉藤 健淑	大和総研・大阪調査部
塚邊 美由紀	日興リサーチセンター・事業調査部
渡森 元子	新日本証券・企業投資調査部
中岡 雅淳	勸角総合研究所・産業調査部
為本 淳一	和光経済研究所・産業調査第二部
金大 松 素子	和光経済研究所・大阪支所
大松 素子	岡三経済研究所・企業調査部
松江 祐三	コスモ証券経済研究所・調査部 (大阪)
諸内 栄敏	第一証券経済研究所・投資調査部
内倉 敏子	ゴールドマン・サックス証券・調査部
ハインダー 敬仁	ゴールドマン・サックス証券・調査部
田中 勝倫	ジェームズ・ケベル証券・調査部
藤森 水倫	スミスバーニー証券・調査部
清小 西 J. 菊江	ソシエテジエネラル証券・調査部
松岡 真孝	モルガン・スタンレー証券・株式調査部
鈴木 孝彩	BZWジャパン証券・調査部
大井 陽い	メリルリンチ証券・調査部
片久 保本	リーマン・ブラザーズ証券・調査部
辻村 健哉	三井信託銀行・投資顧問部
箱崎 真紀子	東京三菱投資顧問・調査部
	東京海上M&C投資顧問・投資調査部
	野村投資顧問・調査室
	安田火災フィナンシャル・グループ 投資顧問・運用第一部
合計	23社 26人

建設ディスクロージャー評価比較総括表

(単位：点)

評価項目	1. 決算短信および有価証券報告書における開示 (10点)						2. 説明会、インタビュー および説明資料 等における開示 (70点)	3. 東証へのファイナ ンシャル ディスクロ ージャー (5点)	4. 企業が自主的に 公表している 情報 (15点)	総 計 (100点)	順位			
	① 決算短信 (8.5点)		② 有価証券報告書 (1.5点)		計									
	6	4.900 (57.6)	1	1.050 (70.0)	6	5.950 (59.5)								
鹿島建設	6	4.900 (57.6)	1	1.050 (70.0)	6	5.950 (59.5)	1	51.975 (74.3)	2	4.125 (82.5)	2	9.663 (64.4)	71.713 (71.7)	1
西松建設	1	7.000 (82.4)	1	1.050 (70.0)	1	8.050 (80.5)	2	45.863 (65.5)	5	3.676 (73.5)	1	10.177 (67.8)	67.766 (67.8)	2
熊谷組	1	7.000 (82.4)	1	1.050 (70.0)	1	8.050 (80.5)	4	44.891 (64.1)	7	3.500 (70.0)	7	5.917 (39.4)	62.358 (62.4)	3
10社単純平均点	—	5.684	—	1.050	—	6.734	—	43.515	—	3.646	—	7.083	60.978	—
平均得点率	—	66.9%	—	70.0%	—	67.3%	—	62.2%	—	72.9%	—	47.2%	61.0%	—
単純平均点 持点	—	7.000 4.620	—	1.050 1.050	—	8.050 5.670	—	51.975 39.022	—	4.500 2.923	—	10.177 3.722	71.713 53.806	—
評価対象企業開示差 最高 最低	—	1.5倍	—	1.0倍	—	1.4倍	—	1.3倍	—	1.5倍	—	2.7倍	1.3倍	—

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式会社時価総額順に列挙すると、鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組、西松建設、戸田建設、熊谷組、五洋建設、フジタ、奥村組の10社である。

注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段括弧書は獲得した得点率を示す。

化学ディスクロージャー評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1.決算短信および有価証券報告書における開示 (15点)					2.説明会、インタビューおよび説明資料等における開示 (70点)	3.東証へのフアイリング等タイムリー・ディスクロージャー (5点)	4.企業が自主的に公表している情報 (10点)	総計 (100点)	順位
	①決算短信 (11点)		②有価証券報告書 (4点)		計					
	1	2	3	4	1					
住友化学工業	9.500 (86.4)	8.572 (77.9)	2.715 (67.9)	12.215 (81.4)	1	61.493 (87.8)	4.030 (80.6)	8.995 (90.0)	86.733 (86.7)	1
旭化成工業	8.572 (77.9)	2.857 (71.4)	2.857 (71.4)	11.429 (76.2)	2	55.444 (79.2)	4.617 (92.3)	8.753 (87.5)	80.243 (80.2)	2
三菱化学	6.929 (63.0)	3.047 (76.2)	3.047 (76.2)	9.976 (66.5)	3	48.033 (68.6)	3.250 (65.0)	3.454 (34.5)	64.713 (64.7)	3
9社単純平均点	6.445	2.497	2.497	8.941		38.850	3.285	4.885	55.962	—
平均得点率	58.6%	62.4%	62.4%	59.6%		55.5%	65.7%	48.9%	56.0%	
評価対象企業開示差	9.500 3.500	2.7倍	3.047 1.143	2.1倍	5.786	61.493 19.132	4.617 2.636	8.995 2.593	86.733 30.417	2.9倍

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式時価総額順に列挙すると、三菱化学株式会社、旭化成工業株式会社、住友化学工業株式会社、信越化学工業株式会社、昭和電工株式会社、宇部興産株式会社、三井東圧化学株式会社、三井石油化学工業の9社である。

注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段の括弧内は獲得した得点率を示す

医薬品データベースジャーナル評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1. 決算短信および有価証券報告書における開示 (10点)					2. 説明会、IRサイト および説明資料 等における開示 (70点)	3. 東証へのファイリング 等(IR)・ディスクロ ージャー (5点)	4. 企業が自主的に 公表している 情報 (15点)	総 計 (100点)	順位
	①決算短信 (7点)		②有価証券報告書 (3点)		計					
	1	2	1	2	1					
第一製薬	6.000 (85.7)	2.315 (77.2)	8.315 (83.2)	1	65.625 (93.8)	3	4.300 (86.0)	11.847 (79.0)	90.087 (90.1)	1
藤沢薬品工業	4.900 (70.0)	2.100 (70.0)	7.000 (70.0)	6	60.259 (86.1)	1	4.725 (94.5)	12.695 (84.6)	84.679 (84.7)	2
山之内製薬	5.350 (76.4)	2.193 (73.1)	7.543 (75.4)	4	58.597 (83.7)	2	4.571 (91.4)	12.540 (83.6)	83.251 (83.3)	3
11社単純平均点	4.888	1.949	6.837	—	48.744	—	3.605	9.640	68.826	—
平均得点率	69.8%	65.0%	68.4%	69.6%	72.1%	64.3%	—	—	—	—
評価対象企業開示差 最高 最低	$\frac{6.000}{3.650}$ 1.6倍	$\frac{2.399}{1.521}$ 1.6倍	$\frac{8.315}{5.172}$ 1.6倍	$\frac{65.625}{29.317}$ 2.2倍	$\frac{4.725}{1.765}$ 2.7倍	$\frac{12.695}{4.648}$ 2.7倍	$\frac{90.087}{43.218}$ 2.1倍	—	—	—

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式会社時価総額順に列挙すると、武田薬品工業、三共、山之内製薬、大正製薬、エーザイ、小野薬品工業、第一製薬、萬有製薬、塩野義製薬、藤沢薬品工業、中外製薬の11社である。

注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段括弧書は獲得した得点率を示す。

鉄鋼ダイスクロージャー評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1. 決算短信および有価証券報告書における開示 (10点)				順位											
	① 決算短信 (7点)		② 有価証券報告書 (3点)													
	計	計	計	計												
評価対象企業																
住友金属工業	5	3.500 (50.0)	1	2.700 (90.0)	4	6.200 (62.0)	1	49.209 (70.3)	3. 東証へのファイナ ンシャル・ディスクロ ージャー (5点)	2	4.167 (83.3)	4. 企業が自主的に 公表している 情報 (15点)	2	12.626 (84.2)	72.202 (72.2)	1
東京製鐵	4	4.073 (58.2)	7	1.364 (45.5)	7	5.437 (54.4)	2	45.853 (65.5)	5	3.929 (78.6)	4	12.171 (81.1)	4	12.171 (81.1)	67.390 (67.4)	2
川崎製鐵	1	4.200 (60.0)	1	2.700 (90.0)	1	6.900 (69.0)	3	40.457 (57.8)	4	4.042 (80.8)	5	12.126 (80.8)	5	12.126 (80.8)	63.525 (63.5)	3
8社単純平均点	—	3.397	—	2.046	—	5.442	—	38.144	—	3.845	—	11.486	—	11.486	58.917	—
平均得点率		48.5%		68.2%		54.4%		54.5%		76.9%		76.6%		76.6%	58.9%	—
評価対象企業開示差 最高 最低	4.200 — -0	∞	2.700 — 0.300	9.0倍 — 0.300	6.900 — 0.300	23.0倍	49.209 — 29.375	1.7倍	4.167 — 3.333	1.3倍	12.750 — 9.251	1.4倍	72.202 — 42.259	1.7倍	—	—

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式会社時価総額順に列挙すると、新日本製鐵、川崎製鐵、日本製鐵、住友金属工業、神戸製鋼所、日立金属、日新製鋼、東京製鐵の8社である。

注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段は括弧弧は獲得した得点率を示す。

電気・精密機器デイスクリンジャー評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1.決算短信および有価証券報告書における開示(15点)				2.説明会、インタビュアーおよび説明資料等における開示(60点)	3.東証へのファイリング等タイムリー・ディスクロージャー(10点)	4.企業が自主的に公表している情報(15点)	総計 (100点)	順位			
	①決算短信 (11.7点)	②有価証券報告書 (3.3点)	計									
ソニー	2	3.850 (32.9)	1	2.550 (77.3)	4	6.400 (42.7)	1	8.647 (86.5)	14.207 (94.7)	69.110 (69.1)	1	
富士通	1	4.500 (38.5)	16	0.750 (22.7)	2	5.250 (35.0)	6	7.480 (74.8)	10.676 (71.2)	66.864 (66.9)	2	
日立製作所	9	1.750 (15.0)	2	1.800 (54.5)	1	3.550 (23.7)	4	8.000 (80.0)	10.727 (71.5)	66.046 (66.0)	3	
16社単純平均点	—	2.256	—	1.481	—	3.738	—	6.962	10.068	57.422	—	
平均得点率	19.3%		44.9%		24.9%		69.6%		67.1%		57.4%	
評価対象企業開示差	最高 4.500	12.9倍	2.550	3.4倍	43.769	4.6倍	8.647	1.9倍	14.207	2.0倍	69.110	—
	最低 0.350		0.750		28.231		4.546		7.023		42.897	—

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式時価総額順に列挙すると、松下電器産業、日立製作所、東芝、ソニー、富士通、日本電気、シャープ、キヤノン、三菱電機、京セラ、三洋電機、村田製作所、松下電工、リコー、TDK、ロームの16社である。

注2. 各評価対象企業開示の数字は、上段は獲得点数、下段は括弧書きは獲得した得点率を示す

自動車ディスクロージャー評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1.決算短信および有価証券報告書における開示(10点)				2.説明会、インタビューおよび説明資料等における開示(71点)	3.東証へのファインリング等タイムリー・ディスクロージャー(8点)	4.企業が自主的に公表している情報(11点)	総計 (100点)	順位
	①決算短信(7点)	②有価証券報告書(3点)	計						
本田技研工業	1 5.775 (82.5)	1 2.375 (79.2)	1 8.150 (81.5)	1 47.753 (67.3)	1 7.625 (95.3)	3 8.271 (75.2)	71.799 (71.8)	1	
日産自動車	5 3.442 (49.2)	4 1.500 (50.0)	4 4.942 (49.4)	2 39.520 (55.7)	2 7.282 (91.0)	1 8.584 (78.0)	60.328 (60.3)	2	
トヨタ自動車	2 4.550 (65.0)	2 1.950 (65.0)	2 6.500 (65.0)	4 31.941 (45.0)	3 6.063 (75.8)	2 8.576 (78.0)	53.080 (53.1)	3	
7社単純平均点	3.817	1.650	5.467	32.240	5.624	6.445	49.775	—	
平均得点率	54.5%	55.0%	54.7%	45.4%	70.3%	58.6%	49.8%	—	
評価対象企業開示差	5.775 2.450	2.375 1.300	8.150 3.800	47.753 17.125	7.625 3.833	8.584 2.975	71.799 29.767	2.4倍	

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式会社時価総額順に列挙すると、トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、三菱自動車工業、スズキ、いすゞ自動車、マツダの7社である。

注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段の括弧内は獲得した得点率を示す

総合商社デイトスコロージャー評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1. 決算短信および有価証券報告書における開示 (10点)				2. 説明会、インタビューおよび説明資料等における開示 (70点)	3. 東証へのファイリング等タイムリー・ディスクロージャー (8点)	4. 企業が自主的に公表している情報 (12点)	総計 (100点)	順位					
	① 決算短信 (3.6点)	② 有価証券報告書 (6.4点)	計											
三菱商事	4	2,571 (71.4)	1	3,914 (61.2)	4	6,485 (64.9)	2	38,931 (55.6)	5	6,466 (80.8)	2	9,333 (77.8)	61,215 (61.2)	1
丸紅	2	2,700 (75.0)	3	3,856 (60.3)	2	6,556 (65.6)	4	33,935 (48.5)	4	6,600 (82.5)	1	9,582 (79.9)	56,673 (56.7)	2
ニチメン	7	1,328 (36.9)	6	2,700 (42.2)	6	4,028 (40.3)	1	40,850 (58.4)	3	6,800 (85.0)	7	3,906 (32.6)	55,584 (55.6)	3
9社単純平均点		1,933		3,208		5,141		31,546		5,729		6,313	48,729	—
平均得点率		53.7%		50.1%		51.4%		45.1%		71.6%		52.6%	48.7%	
評価対象企業開示差		最高 2,743 最低 1,285		3,914 2,543		6,599 3,914		40,850 22,766		6,866 4,167		9,582 3,083	61,215 35,183	1.7倍

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式会社時価総額順に列挙すると、三菱商事、三井物産、住友商事、伊藤忠商事、丸紅、日商岩井、トーメン、ニチメン、兼松の9社である。
注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段の括弧内は獲得した得点率を示す

小売業ディスクロージャー評価比較総括表

(単位:点)

評価項目	1.決算短信および有価証券報告書における開示(10点)				2.説明会、インタビューおよび説明資料等における開示(70点)	3.東証へのファインリング等タイムリー・ディスクロージャー(5点)	4.企業が自主的に公表している情報(15点)	総計 (100点)	順位
	①決算短信 (4.2点)	②有価証券報告書 (5.8点)	計						
イトーヨーカ堂	1 3.100 (73.8)	1 2.543 (43.8)	1 5.643 (56.4)	1 56.709 (81.0)	1 4.167 (83.3)	3 11.229 (74.9)	77.748 (77.7)	1	
ユニー	8 1.167 (27.8)	5 1.734 (29.9)	2 2.901 (29.0)	2 54.894 (78.4)	2 3.794 (75.9)	1 11.553 (77.0)	73.142 (73.1)	2	
マイカル	5 1.283 (30.5)	5 1.734 (29.9)	3 3.017 (30.2)	3 48.618 (69.5)	4 3.147 (62.9)	2 11.500 (76.7)	66.282 (66.3)	3	
11社単純平均点	— 1.456	— 1.786	— 3.243	— 33.757	— 2.692	— 8.531	48.224	—	
平均得点率	34.7%	30.8%	32.4%	48.2%	53.8%	56.9%	48.2%	—	
評価対象企業開示差 最高 最低	3.100 0.817	2.543 1.040	5.643 2.517	56.709 12.220	4.167 1.270	11.553 5.068	77.748 21.711	3.6倍	

注1. 評価対象企業は、東証1部上場株式時価総額順に列挙すると、丸井、三越、高島屋、伊勢丹、阪急百貨店、イトーヨーカ堂、ダイエー、ジャスコ、マイカル、ユニー、西友の11社である。
注2. 各評価対象企業欄の数字は、上段は獲得点数、下段は括弧内数字、下段の括弧内数字は獲得した得点率を示す